

総合型選抜(TEAP・英検等利用方式)について

求める学生の基本像

英語能力検定試験において、本学における英語学修を行う基礎力を示した者。英語及び本学の学修について広く関心をもち、それらについて自己の考えを積極的に表現する意欲を持つ者

TEAP・英検等利用方式A : 試験日11月20日
 TEAP・英検等利用方式B : 試験日12月11日
 TEAP・英検等利用方式C : 試験日1月～3月 I～V日程
 TEAP・英検等利用方式D(オンライン): 試験日1月～3月 ア～オ日程

本学の中で、一番実施回数が多い選抜方法です。TEAP・英検等利用方式という名称のあとにアルファベット大文字のA、B、C、Dをつけて区別しています(出願は1回のみ)。



出願・日程詳細は本学WEBサイトまで→



次の英語検定試験①～⑧のいずれかの基準を満たす者
今年からGTECの出願基準が新たに加われました。

①	TEAP(リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング)	計135点
②	TEAP CBT(リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング)	計235点
③	TOEFL(Paper-Based)	437点
④	TOEFL(Internet-Based iBT®)	42点
⑤	TOEIC® L&R, S&W	計625点
⑥	英検	準2級
⑦	IELTS	4.0
⑧	GTEC Advanced、GTEC CBT (リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング)	690点

これらの検定試験の公式スコアが出願の際に必要です。英検以外は、原則提出期限からさかのぼって2年以内に発行された公式スコアが必要になります。

英語が好き、英語力を自分の強みとして磨きたい、という生徒さんにとって、向いている選抜方法です。

出願資格は、本学を第一希望としていることに加え、左にお見せした英語能力試験に関する出願基準を満たしていることが必要です。

選抜方法は個人面接になります。面接の一部は英語で行われます。

この選抜で求める学生像の中に「言語や異文化、社会事象にかかわる問題について、日本語と英語で議論する際に必要な基礎知識を持つ者」とあります。

面接の対策には、日ごろから、このような問題について関心をもっておくことが大切になってきます。